

森林レンジャーあきる野新聞



Vol.87 2017年9月号

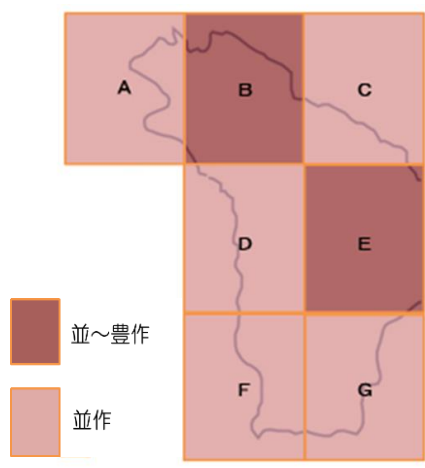
発行:森林レンジャーあきる野

今年のどんぐりは

多くの野生動物が利用するどんぐり。今年も市内のどんぐりが実る木401本の着果状況を調査しました。8月に入ってぐずついた天気が続きましたが、着果状況は天気とは裏腹に8月下旬時点で昨年よりもいいようです。

ただ、奥山のヤマグリについては凶作に近い不作です。ヤマグリと栽培種のクリを「クリ類」としているため、クリ類全体では不～並作、B・Eメッシュはクリが多く並～豊作です。Cメッシュのクリも並～豊作です。

クリ類は、どんぐりの中で最初に成熟し、哺乳類が利用し始めます。人家付近にあるクリやカキは収穫しましょう。



樹種	着果状況
ブナ	並
ミズナラ	並～豊
クリ類	不～並
コナラ	並～豊

まだ緑色のどんぐりも森の野生動物に利用されます。チョッキリの仲間が卵を産んだり、樹上性のムササビなどがどんぐりを食べたりと8月中旬から利用されています。9月中旬からどんぐりが成熟し始めると、どんぐりを食べるものに加え、貯めるものたちの争奪戦が始まります。どんぐりを利用する野生動物を痕跡（過去の画像含む）や生物写真で一部紹介します。



ムササビの食痕（ミズナラ）



ハイイロチョッキリが卵を産んで切り落としたミズナラ



どんぐりの殻が目立つイノシシのフン



どんぐりに卵を産むコナラシギゾウムシ



ニホンザル



ニホンリス



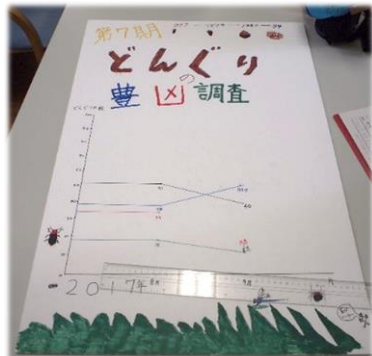
カケスがヤマグリをくわえている



オシドリ（写真はみ）



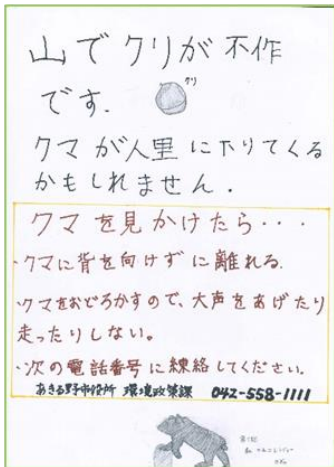
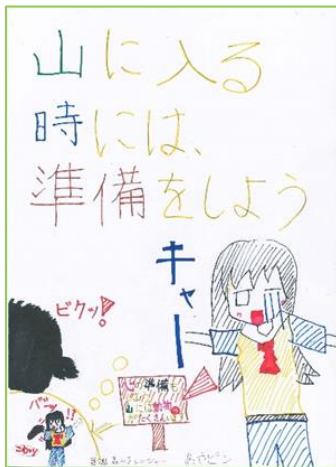
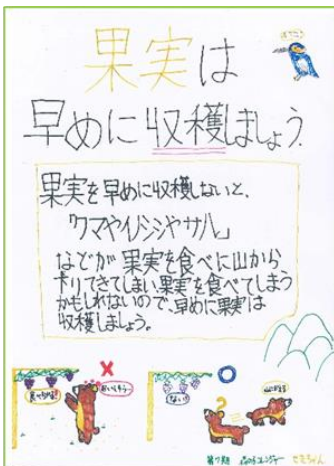
ツキノワグマ



コレンジャーとのどんぐり豊凶調査も今年で5年目です。どんぐりはたね？実？どんぐりは森でどのような野生動物に利用されている？どんぐりは野生動物に利用されるためにある？など、調査を通してどんぐりやどんぐりをめぐる森について学びました。

調査の後は、結果をボードにまとめ5年間の実りの変動を見ました。自然はいつも同じじゃないこと、

どんぐりの実りが野生動物に影響すること、野生動物に人の行動も影響を与えることを知り、野生動物が出没する前に自分たちにできることを考え「人への注意喚起ポスター」を作成しました。このポスターは、毎年小宮地区の6自治会の掲示板や、観光、登山に訪れる方の目にとまる場所に掲示しています。コレンジャー、協力ありがとう！！



- できることからやりましょう
- * 果実は収穫しましょう
 - * 漬物樽や肥料などは屋内に入れましょう
 - * ゴミは決まった時間に出しましょう
 - * 野生動物への餌付けはやめましょう
 - * 野生動物の隠れ場所になる草藪を整備しましょう
 - * 山に入る心構えや準備をしましょう
 - * 夜の一人歩きは控えましょう



どんぐりは大きく、栄養が豊富な上、まとまって生育しているので、効率よく採食できることから多くの野生動物が利用します。また、ある程度乾燥に強いので、カケスやリス、ネズミなどは木の洞(うろ)や地面などに貯食します。どんぐりは、これらの生物の食べ残しによって次世代へ命をつなぐチャンスを得ます。どんぐりもまた、こうした森の生物を利用しているのです。(加瀬澤)